

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

Happiness by

living in

Minamiuonuma.

Vol. 1

2014 / Autumn

新潟県南魚沼市若者定住促進
ライフスタイルマガジン



LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

Happiness by

living in

Minamiuonuma.

Vol. 1

2014 / Autumn

www.life-in.jp

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

Happiness by
living in
Minamiuonuma.

Vol. 1
2014 / Autumn

南魚沼に暮らす
というしあわせ。

CONTENTS

Introduction of the life style

04 大地があり、生命を育て、生み出す事が出来る
南雲剛史さん 亜美さん

10 農業を子供達の憧れの職業に
山本克幸さん 友季さん

16 仕事が良いものであれば、人生も良いものになる
山崎奈津子さん

The Geography of Minamiuonuma City

20 これから南魚沼市への定住を考えている方へ
南魚沼市の施策一覧

22 南魚沼市概要・歳時記

新潟県南魚沼市若者定住促進 ライフスタイルマガジン

南魚沼市にUターンやIターンで実際に定住している
若者のリアルな暮らしや、定住に役立つ情報を紹介する
ライフスタイルマガジン『LIFE in～ライフイン～』

www.life-in.jp

Introduction of the life style

2014 autumn

南雲剛史さん 亜美さん

大地があり、
生命を育て、
生み出す事が出来る。

JR六日町駅から徒歩3分ほどの小さなカフェ「Mog².WORKS(モグスクエアードワークス)」は、2009年6月に東京からUターンで戻って来た南雲ご夫妻が営む、手作り感あふれるアットホームな雰囲気のお店です。自分達の好きなものを軸にして、良い物を直接お客様に提供する情報発信基地として考えている、そんなお二人に南魚沼での暮らしについて聞いてみました。

田舎暮らしは
ゆつくと
ゆつくと

——自分のなかで特に思い出に残る人生のターニング・ポイントを教えてください。

南雲剛史さん（以下敬称略） 東京の職場を辞めて新潟に戻ると決めた時ですね。別に東京が嫌になって新潟に戻ってきたわけじゃないんですよ。以前から自分のお店を持ちたいと思っていたんですが、どうせやるのであれば自分の生まれたこの南魚沼の地でやってみようと思いついたんです。

——とてもおしゃれな雰囲気の内装ですが、これは剛史さんのインテリア関係の経験を活かしてアレンジしたんですか？

剛史 はい。自分達の好きなものを集め、手作りでできるものは自分達で作りました。このお店のコンセプトでもあります。全てにおいて出来合の物は極力使わず、じっくりと手をかけて高いクオリティの場所と食をお客様に提供しています。

南雲亜美さん（仮名・敬称略） 私も高校を卒業してから10年間暮らしした東京を離れ新潟へ帰ってきた時です。アパレル系からは飲食業に転向する。これに関しては特に違和感はありませんでした。現在のようないすフェイスブックやラインなどもなく、口コミ、人との出会いで自分の暮らしを広げていく時代でしたので田舎暮らしはゆっくり・ゆっく〜りとスタートしました。

— ゆっくりと順調にスタートしたわけですね？

亜美 いいえ。実は初めは友人も知人もほとんどいなく、交通の便も悪いし、この生活が嫌で嫌で仕方がなかったんです。そんな時仕事先の知り合いのおばさんだっ「私もここに来て初めはそつだったんだよ。2年我慢すれば慣れるから。」って優しく言ってくれました。それで、2年だけは我慢しようって…(笑)、そして本当に2年経ったらこの地域の素晴らしいところが沢山見えてきて…。今では、こちらに戻って来た事について一切後悔はして来ませんし、お店こそが自己実現の場であると考えています。メニューやレシピも自分分で考えていますよ。

——なぜ南魚沼に戻るといふ選択をされたのですか？

剛史 田舎のしがらみがうっとうしいという部分は確かにありましたが、実家を継ぐこと、そして自分が生まれた土地であるということとは大事です。

亜美 東京で生活している時は、アパレル系に骨を埋めるつもりで絶対に地元に戻ってこようとは思いませんでした。ただ、私の一番好きな人がそうすると決めたらには一緒に夢を叶えようと思い地元に戻ってきました。

——南魚沼で暮らすことの魅力・誇りについてお聞かせください。

亜美 大地があり、生命を育て、生み出す事が出来る。農薬や化学肥料を使わない自然農法で育てた野菜をメインにしたお店を運営して、田舎でもこんなこだわりのお店があるんだと都会に発信できたらいいですね。

剛史 世間で言われているような米や酒などは正直あたりまえすぎて良さがわからないというのが本当のところですね。適度な田舎感と都会までの交通の便の良さということが一番だと思います。もし、自分で何かをしたいと思うなら、それを実現しやすい環境にあると思います。





雇われない 生き方

—なぜ今の職業を選んだのですか？

剛史 働きたい場所が特になかったので自分の采配で時間が創れること、自分の好きな事を考え即実行できるという「雇われない生き方」を選択しました。

亜美 東京という都会でインプットしてきたものをアウトプットしていく場として自分達の表現の場をカフェという空間でスタートしました。物や便利さはないけれど、ないものを自分で創る楽しさがここにはあります。

—あなたにとつての「職業」とは？

亜美 人生、自分。今まで好きな事しか仕事にしてこなかったで、お金のためにとか生活のためにとかいう風に仕事をした事がありませんでした。職業とは人生そのもの、自分そのもののなのです。

剛史 「生活」と「自分の表現」の両立です。

自由には 責任が伴う

—何かご両親から受け継いだ特別な教えがありますか？

剛史 自分は母親から最も影響を受けたのですが「自由には責任が伴う」ということを何度も言われて育ちました。

亜美 人は必ず、どこかで誰かの役に立っているという事ですね。いろんな人がいるから嫌な人に出会った時でも、自分とは違う考えもあると教えてくれてありがたいと思いたいという事を教わりました。

—素晴らしい教えですね。お子様が生まれてから生活のスタイルが子供中心になったと伺いましたが、自分達の子供に受け継ぐべき大切なことはありますか？

剛史 まずは健康である事と本当の自分よりも「なりたい自分」を目指して欲しいです。あとは母親をいつまでも大事にして欲しいです。

亜美 命さえあればなんとかなるから、無理だと思わずやってみなさいということですね。全ては自分の責任として受入れ、絶対にあきらめ癖をつけないこと。あとは、人との出会いを大切にしたいです。子供には一度は地元から離れて外の世界を見て知見を広げて戻ってきてもらいたいですね。

剛史 母親としては絶対にこの地に戻ってきて欲しいわけですよ。(笑)

—生活を営むうえで特別な「こだわり」があれば教えてください。

亜美 「適当」ということ。これはいい加減という意味ではなく自分と違う人とは争わないということ。自分以外はみんな違う人なのだから。

剛史 常に世間の動きにアンテナを張っていることが大事です。ライフ・スタイル全体に関して自分のこだわりの「おしゃれさ」「スタイリッシュ」であることを追求していきたいです。

—子育てと仕事で大変お忙しいとは思いますが、プライベートな時間はどのように過ごされていますか？

剛史 1に家事・育児、2に仕事、3に遊びですね。亜美 家族で過ごす事がほとんどです。息子が生まれる前は、お店の買出しなどで出かける事が多かったのですが、今は手の届く範囲で仕事も生活も両立できる様になりました。そして、それが一番という事が分りました。子供ができれば生活全般にダンナが優しくなり子供の育児を率先してやってくれています。あんな笑顔は、飼っている犬にしか見せなかったのに(笑)。

剛史 そうかな？(笑)

—あなたにとって、かけがえのない大切なものとは何ですか？

剛史 息子・家族・家庭です。

亜美 あとは友人かな。





■南雲剛史さん tsuyoshi nagumo /34才 … 南魚沼市生まれ。六日町高校卒業後、東京の専門学校へ進学。卒業後はインテリア関係の仕事を経て、帰郷。2009年6月からカフェ「Mog². works」を営む。
【営業時間11:00~20:00、休日:日曜日、第3月曜日】

■南雲亜美さん tsugumi nagumo /34才 … 湯沢町生まれ。六日町高校卒業後、東京の服装の学校へ進学。卒業後は東京のアパレル店の販売員を3年半、アパレルメーカーの生産管理・営業事務として3年半勤務。帰省し市内の飲食店のキッチンホールの立上げ準備とスイーツ係を担当する。現在は夫とともに「Mog². works」を営む。



自分の好きなものを 軸にした生活

——暮らしのなかの楽しい事、つらい事など何でも良いので語ってください。

亜美 世の中には農薬、添加物、GM食物、放射能、薬などに関して色々な意見があると思いますが、それらの問題をめぐって互いに対立するなんて何かが間違っていると思います。幸い私達の周りにはそういう問題に敏感な人が多くて、仲間同士で情報交換しながら楽しく暮らせています。これらの問題に対して自分達が飲食業者として情報発信していく事で共感できる人達が集まって来てくれるようになりました。家族と同じ価値観で子育て出来る事はとても幸せで恵まれていると思います。

—— 今後のあなたの夢をお聞かせください。

剛史 夢というか願望は、頑張らない生き方というかニュートラルな生き方ができたら良いと思います。でも一番は子供の幸せですね。今は自分の楽しいと思う事を実践しつつ、お店を通してお客様に自分達の伝えたいことを伝える事ができる生活に満足しています。

亜美 好きなものを軸に暮らしたいと常々思っています。「好きな人」「好きな仕事」「好きな家」「好きな友達」「好きな遊び」... 等々。

自分達が創りだしていく 事に価値を見出すような ライフ・スタイル

——これから南魚沼で暮らそうと考えている人に良いアドバースがあればお願いします。

亜美 自然がたくさんあり、毎日見ている景色は必ず心の芯の部分に影響していると思います。壮大な地球のこと、その中の自分のこと、「なぜこんな小さな事で悩んでいるんだ？悩んだって仕方ないじゃないって」何度も起き上がる力になってくれます。「もの」に囲まれた都会では気づけないし、自分で何も生み出せなくなってしまう気がします。

ここは何も無いです！不便です、逆にそれが良いんだって2年いたら分かります。物に囲まれた生活を捨てて、自分達が創りだしていく事に価値を見出すようなライフスタイルが見えてくるようになります。人生で起きることは全て自分で選んだこと。誰のせいにもしなければ、ここでの暮らしはともぜいたくで幸せだと思えます。

剛史 過度な期待を持たないことですね。そのうえで、都会にはないものを楽しんでください。物はどこでもいつでも買える時代だし、ネットワークで四六時中誰かと繋がる事ができるけど、不便な田舎で食・家族・友人などの「リアル」を感じて楽しいと思います。



Introduction of the life style

2014 autumn

山本克幸さん 友季さん

農業を子供達の 憧れの職業に。

霊峰八海山の麓、田園風景が広がる大崎地区、ここに親子3代で「南魚沼産コシヒカリ」を丹精込めて育てている篤農家のご夫妻がいます。農業こそ地域の基幹産業であり、その復活こそが地域活性化の切札と熱く語る克幸さん、そして、その夢と一緒に支えるため都会から移住した友季さん。農をメインにしたライフ・スタイルと今後の夢について聞いてみました。

—なぜ南魚沼に戻るといふ選択をされたのですか？

山本克幸さん 以下敬称略 東京で暮らして
みることで、逆に生まれ育った南魚沼で
の生活に魅力を感じ、故郷で何かを始め
てみたいという思いが強くなりました。
ついには、その気持ちに抗うことができ
ず戻ってきましたが、一度故郷を離れた
からこそ地域の人達の優しさや繋がりの
大切さを再確認することができました。

—奥様は、千葉県の東金市のご出身だ
そうですが？

山本友季さん 以下敬称略 はい。南魚沼に
はスキーで何度か遊びに来た程度でした
が、大学2年の時にお友達に誘われて行
ったスキー場で主人と運命的な出会いを
して、この地に嫁ぐことになってしま
いました。

—すごいまさに愛の力ですね。

友季 はい。その当時は（笑）。主人の
農業にかける熱い思いを聞いているうち
に一緒に夢を叶えられたらいいなと思
うようになりまして…。

—豪雪地ということ、移住すること
に抵抗はありましたか？

友季 いえ、特にありませんでした。
生活するうえで全く不便がないといえ
ば嘘になりますが、それを補って余りある
住環境があります。千葉は大好きな私の
故郷ですし、確かに住みやすい所ですが、
子供を育てる環境として考えた場合、庄
倒的に南魚沼の方が魅力は高いと考えま
す。住み続けるならどちらが良いかと言
われれば私は絶対に南魚沼ですよ。

—では南魚沼で暮らす魅力や誇りに
ついて聞かせてください。

友季 家を出ると直ぐに豊かな自然がた
くさんあり、子供達をのびのびと育てら
れる環境があります。コシヒカリの田園
風景の中を子供達と一緒に自転車で走り
回れる贅沢は何物にも代える事が出来ま
せん。毎日ニコニコ笑顔で生活し、のび
のびと元気に育っていることが何よりも
誇りです。南魚沼の魅力を農業体験や自
然体験を通じて発信することができれば、
私のようにこちらに移り住む人が増える
のでは？もっともっと都会から多くの
人に移住してもらって、素晴らしい生活
を実感してもらいたいです。



自然のおかげで 自分が生かされている という感覚

克幸 自分にとって、南魚沼の一番の魅力は四季の変化です。山に囲まれ、季節の変化が大きく無意識に自然を近くに感じます。自然のおかげで自分が生かされているというのが感覚として分かるようになります。そして、こんな素晴らしい自然の中で暮らしを営む人達を誇りに思います。

友季 あとは、何と言ってもお米が美味しいです。家族みんなで丹精込めて作っている姿を間近で見ていると、余計に美味しく感じますね。まさに日本一のお米だと自信を持ってお勧めできます。

—— 克幸さんはなぜ農業を職業として選んだのですか？

克幸 実家が農業をしており、最初はあまり家業を継ぐつもりはなかったのですが、一度実家を離れて暮らすことで、今まで魅力を感じなかった農業が実は人に誇れるような素晴らしい職業だと感じるようになったからです。自分が丹精込めて作ったお米をお客様が美味しいと評価してくれる瞬間が一番うれしいです。

—— 克幸さんは、俳優の伊勢谷友介さんが主宰するリバープロジェクトのメンバーと一緒に都会の人が参加する田植えツアーを企画したり、東京のレストランでお米のイベントをしたりと色々な取組をしていますね？

克幸 はい。友人と一緒にチャレンジしています。参加者からとても評判が良いのですが、今後は婚活ツアーなどに発展させていければと考えています。マスコミからも沢山取材していただき、農業のイメージアップに貢献できればとも考えています。

—— 奥様は、本業の保育関係のお仕事をしながら多くのお客様のおもてなしをされているとのことですが？

友季 都会から多くの方に参加していただき、喜んでもらえて大変嬉しいです。今は農業を手伝いながら本業の保育関係の仕事をしています。もともと子供が大好きで、子供に関わる仕事でしたかったです。

—— 実際働いてみてどうですか？

友季 保育という仕事は責任のある重要な仕事だと思いましたが、昔からやりたかった事なのでとても満足しています。

克幸 農業は、自分の夢を実現するためのものです。一人の力で実現できない事であっても、仕事を通じて仲間と協力することで大きな成果を生み出す事ができると考えています。「人の役に立つこと、社会の役に立つこと」を胸に刻みながら一人一人が自分の仕事を一生懸命することにより自分の成長にもなり、社会がより良くなって行くと考えています。

農業の持つ 新たな可能性を 探っていきたい

— 今後のあなたの夢について語ってください。

克幸 農業という素晴らしい職業を子供達が憧れるような職業にしたい。そして、次の世代の子供達に繋げられるような形にする事です。そのためには観光や食育など他分野との融合による農業の新たな可能性を見出していきたいと思います。このような大きな夢の実現は、とても一人ではできませんので仲間や賛同者を増やして、南魚沼全体の活性化につながれば良いと考えています。あとは、まだ全く具体性の無い夢なんですが家族と一緒に農家レストラン・民宿などにもチャレンジしてみたいですね。

友季 農業の魅力をもっと沢山の人の知ってもらい、子供達が憧れる職業にするという主人の夢を応援していきたいですね。

— それでは最後に、南魚沼で暮らしてみようと考えている人に良いアドバイスがあればお願いします。

克幸 この地域で暮らす上での一番の特徴は、やはり雪ですね。雪をいかに楽しむかということがとても重要だと考えます。四季の変化がとてもはっきりしているので暮らしづらさを感じてる方も多いと思いますが、

季節ごとに表情の異なる大自然を楽しむというこれは逆に都会では決してできないこの地域の最大の魅力でもあります。他の地域にはないおいしい食べ物もたくさんありますし田舎ならではの楽しみ方が沢山ありますよ。あとは、どこの地域に行っても同じだと思いますが、仕事以外の近所づきあいや地域の集まりなどコミュニティ活動の事も、きちんと頭に入れておくことが大事ですね。何事もお互い様ですわね。

友季 都会と違い、地域が密着していますので、日頃のコミュニケーションさえとれていれば生活上の問題や災害が発生して困った時などは色々近所の人達が助けてくれます。実際、私たちも中越大地震の時は自分のお家が大変なのにもかかわらず近所の方がおにぎりを差し入れてくれたり、色々な気遣いをしてくれたり人の温かさを感じました。まさに絆ですね。お金には代えられない人々の温かさを互いに共有しながら生活していただければと。あとは、繰り返しますが、家から一歩出れば自然が間近にあって、遠くに出かけなくても子供達が自然と触れ合える環境にあるということはとても驚きな事だと思えます。こんな素晴らしい自然環境と一緒に子育てできるんですから、ぜひ多くの方から移り住んでいただきたいと思っています。



■ 山本克幸さん katsuyuki yamamoto /35才 … 南魚沼市生まれ。高校卒業後、進学のため上京。2003年帰郷後、会社勤めの傍ら家業の農業を手伝い始める。現在は農業の魅力に目覚め、イベントを通じて生産者と消費者の距離を縮め、観光や食育との融合など農業の新たな可能性を探っている。

■ 山本友季さん yuki yamamoto /34才 … 千葉県東金市生まれ。女子大卒業後、家業を継ぐため㈱ホンダプリモちば東に就職する。平成16年結婚を機に南魚沼市に移住。保育関係の仕事につきながら、3人の子供の母として子育てに奮闘中。



失敗は権利、 反省は義務

— ご両親から受け継いだ特別な教えがありましたら教えてください。

友季 「失敗は権利、反省は義務」、失敗を恐れて何もしない事は愚かなことで、反省することは大事なことです。失敗を恐れず何事にも挑戦してもらいたいという意味です。

克幸 「時は金なり」「家族が一番に」これは教わったことではないのですが、自分が親を見て感じたことです。

— とても良い言葉ですね。自分も肝に銘じます。では、子供達に残したいことは？

友季 「失敗は権利、反省は義務」ということ。そして、人に対して常に思いやりの心を持つような人になって欲しいと思っています。

克幸 何事にも感謝の気持ちを忘れずにといいことですね。

— さすが、3人の子供の親となると言う事が素晴らしい。お子様も素直で元気に育っているようで見ていてこちらも嬉しくなるようです。ところで、仕事以外のプライベートの時間はどのように過ごされているのですか？

克幸 実際は仕事が忙しくてプライベートな時間はあまりとれないのですが、休みの日は家族で出かけたり公園で遊んだりしています。

友季 公園で子供と一緒におもいっきり体を動かして遊んでいます。あとは家族揃ってのショッピングかな。

— 南魚沼の暮らしの中で感じる楽しい事・つらい事何でも良いのでお話しください？

友季 夏は家族でキャンプや昆虫採集に行ったり、ドライブを兼ねて海まで釣りに行ったりしていますし、冬はスキーや雪遊びを楽しんでいます。四季の表情がはつきりしています。で、季節ごとに様々な遊びをエスジョイしています。豪雪地ということで冬は不便だなと感じる事も多々あります。例えば以前冬にドライブに行ったとき、吹雪で道を走っているのが全く分らなくなって迷子になった事もありました。でも、それを一ついい思い出として一度もありません。

克幸 子供達がスキーを始めましたので、これから冬になって時間がでることが楽しみです。一緒にスキーを楽しみながら子供の成長を感じる事が出来れば一番幸せですね。



仕事が良いものであれば 人生も良いものに

—そして、あなたにとっての仕事とは？

奈津子 自分をつくりあげていく上で必要不可欠なもの。一生の中で仕事をしている時間はとても長いので、その時間を楽しく、より充実したものにする中で人生の色が大きく変わらと思っています。仕事が良いものであれば、人生も良いものになると思います。

—仕事を含め生活を営むうえで特別な「こだわり」があれば教えてください。

奈津子 「金は天下のまわりもの」お金は使わなければ入ってきませんし、世の中が回っていきません。お金の良い使い方、良い貯め方を実践し良い生活を営みたいと思っています。お金を使うことをただ我慢するのではなく、その物・サービスが本当に必要かどうかをよく考えて判断することが大事だと思っています。

—仕事以外のプライベートな時間はどのように過ごされているんですか？

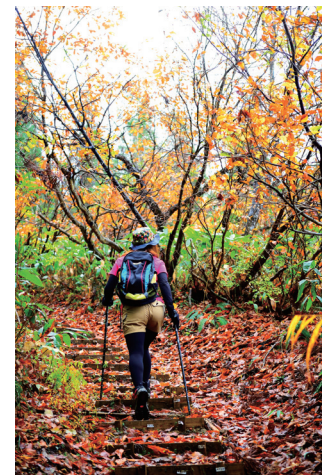
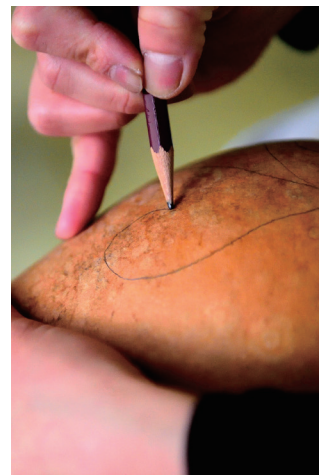
奈津子 登山、仕事の勉強会、日帰り温泉、ひょうたんランブリング、たまにランニング、園芸、お花見などをしています。特に山に登っている最中は色んな事を素直に感じられる時間であり、一緒に登っている人との本来の関わり方が見えてきます。また、「ひょうたんランブリング」は、同じ作品は一つもなく、とてもクリエイティブな感覚を磨けますよ。

—今後のあなたの夢をお聞かせください。

奈津子 どんな形であろうと、現在の美容師という仕事をやり続けたいです。そして、大切な人の夢と一緒に叶える事ができたら幸せですね。将来は「おかあさんの子供で良かった！」って思われるような母親になれるたサイコーです。

—最後にこれから南魚沼で暮らそうと考えている人に良いアドバイスがあればお願いします。

奈津子 南魚沼は雪が多く巻機山、八海山、坂戸山など素晴らしい山がたくさんありますので、都会ではできないことを楽しむことができます。季節ごとに色々な趣味を持つと生活が充実すると思いますよ。



■山崎奈津子さん natsuko yamazaki /29才 ... 南魚沼市生まれ。八海高校卒業後、新潟理容美容専門学校へ進学。卒業後は千葉市の美容室へ就職。2006年帰郷し、南魚沼市の美容室に勤務。現在は美容室apre(アプリ)の店長として勤務。【営業時間9:00~18:00、休業：月曜日第3日曜日、第1火曜日】

これから南魚沼市への
定住を考えている方へ

南魚沼市の施策一覧

地域にある資源を活かす・守る・伝える

【芸術文化振興への助成】

- ・地域の伝統芸能の後継者育成事業、伝統芸能を通じた世代間交流を推進する事業を支援。
補助金の上限は15万円(湯沢町との広域計画協議会で助成)

【南魚沼の木で家づくり事業】

- ・H23～ 住宅建築時の南魚沼産木材購入費の1/3を補助しています。
補助金の上限は50万円

【就農体験ツアー】

- ・グリーンツーリズム協議会や各観光協会で、農業体験旅行を実施。

【市内スキー場共通リフト乗車証の発行】

- ・雪国の子どもたちにスキーがしやすい環境を。
- ・スキー場協議会が発行する市内児童・生徒のスキーリフト券の購入を助成。

【郷土を愛する教育目標の推進】

- ・「ふるさに誇りをもち、未来を創造する子ども」を目指して、学校教育の中で、郷土の歴史や文化を知る活動やふるさに貢献する活動に取り組んでいます。
- ・上杉景勝 直江兼続 北越雪譜 岡村貢 米づくり など。

安心して働き続けられる環境づくり

【自主的出店者支援事業】

- ・商店街の空き店舗への新規出店に1年間の家賃補助。
- ・対象者：新規起業家で3年間引き続き店舗経営を行う者。
- ・月額家賃の1/2を交付。上限3万円。

【WEB企業ガイド】

- ・新規学卒者、Uターン・Iターン・Jターンなど、南魚沼市での就職を希望する人へ、ウェブサイトです市内企業情報の紹介を行っています。

【企業立地促進】

- ・企業立地を容易にし、産業振興と雇用の増大を図るために奨励措置を行っています。
- ・固定資産税の課税優遇措置や奨励金の交付。(地元新規雇用者1人につき10万円を交付)

【メディカルタウン構想】

- ・魚沼基幹病院の整備に併せ、医療、健康、教育などの関連産業を集積。
- ・医療、健康産業を中心に、専門性が高い企業や食品製造なども含めた新たな産業創出を。

【ICLOVE (アイクラブ) 国際大学-南魚沼市地域新規事業コラボレーションプログラム】

- ・地域企業と国際大学が連携し、企業の抱える課題を共同で解決しながら、国際大学の卒業生が持つ国際的なコネクションを利用し新たなビジネスモデルの展開を探ります。
<http://cms.iuj.ac.jp/iclove/>

産学
連携

お問い合わせ

南魚沼市総務部 企画政策課 TEL.025-773-6672
南魚沼市公式ウェブサイト <http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp>

子育てしやすいまちにするために

親子のふれあい・保育

【ほのぼの広場】

- ・0歳から入園前の親子が自由に遊んだり情報交換ができる場。
大和庁舎会場：月・火・木
ふれ愛支援センター会場：月～金
塩沢庁舎会場：火・水・金

【にここ広場】

- ・入園前のお子さんとお家の方を対象にした、保育園でおこなう遊びの広場です。どの地域の保育園の「にここ広場」にも参加できます。

【心豊かな子育て教室「そだち学級」「親子サロン」】

- ・入園前の親子の遊びの場、仲間作りの場。六日町地域の4地区、大和地域、塩沢地域でそれぞれ年間3回から4回開催。

【多様な保育サービスへの助成】

- ・病後児保育などの特別保育に取り組む施設へ助成。
病児保育：萌気園浦佐診療所
病後児保育：野の百合保育園、わかば保育園

【ファミリーサポートセンター】

- ・子育ての手助けをして欲しい人に保育サービスの提供を行う会員制の保育事業。

【読書のつどい、絵本のへやなど】

- ・乳幼児、保護者さんを対象に図書館で読み聞かせを行っています。

【待機児童ゼロの維持】

- ・保育園の待機児童0人を続け、希望するすべての子どもへの保育を実践。

住み続けたいと思うまちに

【地域コミュニティ活性化事業】

- ・市内12地区で「地域づくり協議会」を組織し、地元の視点で事業を実施
- ・地区独自の特性を活かしつつ、地域を活性化し、住民の連帯を深め、安心・安全の社会、美しい環境づくりを目指し、主に2つの事業を行っています。

(基礎事業)・主に地元で管理する法定外公共物の修繕や、市道に付帯する軽微な修繕など、地域で必要と思われる工事を実施(ハード事業)
(提案事業)・地区の特性を活かし、住民のつながりを深め、地域が活性化するために、自由な発想で独自に計画し実施する事業(ソフト事業)

【女子力観光プロモーションチーム】

- ・女性の視点から全く新しい切り口で南魚沼市の観光を考え、イベント企画や観光関連事業への提案を行う事を目的とした、年齢も職業も様々な一般ボランティアで結成されたチームです。 <http://joshi-ryoku.jp>

【ご当地グルメで地域おこし】

- ・南魚沼地方に昔から伝わる郷土料理「きりざい」を基にしたご当地グルメ「南魚沼きりざい丼」を通じて、地域全体の魅力を伝えていきます。
- ・官民共同によるまちづくり団体「南魚沼きりざいDE愛隊」が、愛Bリーグ(一般社団法人ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会)本部加盟団体となり、南魚沼市の「食・文化・歴史・人」を大いにPRし、多くの人が訪れてくれるよう活動しています。 <http://www.kirizaidon.com>

【美女旅プロジェクト】

- ・地元に住み、地元を愛する普通の女の子が生まれ育った地元を紹介する観光パンフレット。 <http://www.bijotabi.jp>



南魚沼市 について

The Geography of Minamiuonuma City

歳時記

Compendium of seasonal words

- 春 | 裸押合大祭 (3月3日)
一宮神社農具市 (3月12日)
- 夏 | 南魚沼市兼続公まつり (7月17日～19日)
大前神社 翁式三番 (8月14日)
- 秋 | 大々神楽 (9月中旬)
- 冬 | 南魚沼市雪まつり (2月第2土曜日・日曜日)
しおざわ雪譜まつり (2月第3土曜日)

【主要交通アクセス】

大和スマートIC ※ETC車専用
・東京練馬IC間 198.3km(約2時間20分)
・新潟西IC間 99km(約1時間5分)
・運営時間：午前6時～午後10時まで
・車長12m(大型車)まで

六日町IC
・東京練馬IC間 187km(約2時間10分)
・新潟西IC間 111km(約1時間15分)
＜高速バス停留所：東京池袋間 約3時間17分＞

塩沢石打IC
・東京練馬IC間 175.5km(約2時間)
・新潟西IC間 122km(約1時間25分)

浦佐駅
・東京駅から 約1時間30分
・新潟駅から 約40分

関越自動車道

上越新幹線

【特徴】

南魚沼市は、新潟県南部の魚沼盆地に位置し、太平洋と日本海を結ぶ交通の要衝に位置しています。関越自動車道や上越新幹線などの交通アクセスは大変便利で、交通および物流の中継地としての役割を果たしています。グリーン・シーズンには日本百名山「巻機山」や霊峰「八海山」などの登山客、冬季には、スキー場が集積する一大スノー・リゾート地として多くの観光客が訪れています。教育機関としては国際大学、北里大学保健衛生専門学院が立地されています。保健・医療・福祉・子育て支援の充実も図られ、新潟県が平成27年6月開院を予定している「魚沼基幹病院」により地域医療の高度化の実現に努めています。

【面積】584.82km² 東京23区(621km²)の約94%を占める大きなまちです。

【人口】59,704人 平成26年11月末現在

【年間平均気温】

南魚沼市 11.9℃ (8月 25.5℃ / 2月 -0.9℃)
東京 16.3℃ (8月 26.4℃ / 2月 5.7℃)
大阪 16.9℃ (8月 28.8℃ / 2月 6.3℃)

【位置】

北緯 36度53分 - 37度12分
東経 138度45分 - 139度05分

■『LIFE in ～ライフイン～』についてのお問い合わせ

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180番地1 / 南魚沼市役所 産業振興部商工観光課 / TEL.025-773-6665

